

# クリエイティブ産業の成長をめざして!!

日本のコンテンツは「クールジャパン」として海外からも高く評価されており、その潜在力と波及効果の大きさから、「新成長戦略」等において、わが国の主要な成長分野として位置づけられている。

関西は、東京に次ぐコンテンツ産業の市場規模を有しており、また、芸術系教育機関が多数集積するなど、今後の成長が期待されている。当会では、コンテンツをはじめとしたクリエイティブ産業振興に向けた取り組みを行っている。

## クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西(CrIS関西)

CrIS関西は、クリエイティブビジネスの新たな市場形成を進めるため、その関連イベントを一定期間に集中開催することで、マーケットの形成、多様な人材交流・育成、情報発信力等を促進することを目的に、当会が近畿経済産業局などとともに実施している事業である。

2007年に6イベントからスタートした本事業も、年々参画イベントが増え、今年度は2府5県から27イベントが参画。9月から12月の4カ月間に各地で個性豊かなイベントが開催された(表)。

## 大阪創造取引所

2008年からCrIS関西の中核イ

ベントとして開催している大阪創造取引所は、ビジネスマッチングの機会を創出する西日本最大級のコンテンツの展示商談会である。今年度は、10月18日、19日の2日間、堂島リバーフォーラムにて開催、2,000名を超える来場者を得た。今回も、優れたコンテンツ、デザイン、先端技術やアイデアを有する企業・団体が多数出展し、新たなビジネス創出に向けた熱心な商談が行われた。また、前回に引き続き、出展ブースを対象に、創造性、市場性、海外展開性の観点から優れたコンテンツを表彰する、大阪創造取引所アワードを実施。4社を表彰した(P.11参照)。

さらに、今回は「東北復興応援企画」として、東北コンテンツの紹介ステージの開催や東北3県(岩手・宮城・福島)のPRブースを設置した。



大阪創造取引所の会場風景

## 関西のクリエイティブ産業の活性化に向けて

当会では、近畿経済産業局とともに、関西のクリエイティブ産業の活性化戦略を、クリエイターをはじめとする関係者とともに策定する研究会「関西のクリエイティブ産業を考える会」を2011年6月に立ち上げた。鷺田清一・前大阪大学総長を座長に、今年度内に関西における需要の創出や人材育成等のアクションプランについて取りまとめる。

(産業部 東憲司)

〈表 CrIS関西2011 参画イベント〉

	イベント名称	開催地		イベント名称	開催地
1	LIVING&DESIGN	大阪府	15	KYOTO CMEX 2011	京都府
2	OSAKA STYLING EXPO 2011 LIVING	大阪府	16	テクニカルコミュニケーション シンポジウム 2011	京都府
3	映画×OSAKA	大阪府	17	マンガアートフェスティバル	京都府
4	Japan PopCulture Festival 2011	大阪府	18	木津川アート 2011	京都府
5	MINAMI WHEEL 2011	大阪府	19	京都国際学生映画祭	京都府
6	大阪創造取引所 2011	大阪府	20	びわ湖大津 秋の音楽祭	滋賀県
7	高槻アート博覧会	大阪府	21	ゆるキャラまつり in 彦根	滋賀県
8	BACA-JA 2011	大阪府	22	なら国際映画祭 PRE FIESTA 2011	奈良県
9	学生国際ショートムービー映画祭	大阪府	23	吉野芸能祭 2011	奈良県
10	「地方の時代」映画祭 2011	大阪府	24	飛鳥アートプロジェクト 2011	奈良県
11	クリ博就職フェスタ大阪	大阪府	25	田辺・弁慶映画祭 2011	和歌山県
12	アニメーション神戸	兵庫県	26	福井映画祭 2011	福井県
13	神戸ピエンナーレ 2011	兵庫県	27	ふくいソフトウェア コンペティション 2011 表彰式	福井県
14	KOBE JAZZ STREET	兵庫県			

# 大阪創造取引所アワード受賞企業

## ■クリエイティブ・アイデア賞

株式会社 ロッコン  
(大阪市北区)



望月取締役

ロッコンは、3D立体映像コンテンツの制作を専門的に行っている。インタラクティブ表現技術を背景とし、新しい表現メディアを用いた情報機器やコンテンツの企画、コンサルティング、ソフトウェア開発等を手掛けている。

今回が初出展となる大阪創造取引所では「デスクトップリアルタイム立体映像コンテンツ」を展示。これはサンゴ礁の海を3D立体映像で表現し、手をかざした位置から泡が出るという、空間センサーを用いたインタラクティブな映像表現の体験型コンテンツである。

コンテンツ開発者の望月取締役は「会社設立5年めで、このような受賞は初めて。みんなで喜びたい。今後も新しい技術を使った面白い表現を探っていきたい」と抱負を語った。



デスクトップリアルタイム立体映像コンテンツ

## ■クリエイティブ・グローバル賞

マッスル株式会社  
(大阪市淀川区)



玉井社長

マッスルの玉井社長は、どうせやるなら多くの人に役立つ仕事、自分も喜び周囲も喜ぶ、他人の幸福につながる仕事をするために会社を設立したという。

今回展示した一体型ACサーボシステムは、シンプル・ローコスト・使いやすさ、を基本に開発されており、装置や機器全体の軽量化、シンプル化とともにコストダウンも実現した。2010年、上海万博の日本産業館で人気を博した「夢ロボ」にも、このシステムが搭載されている。

同社は2011年、シリコンバレーに三つめの子会社を設立。玉井社長は「新しい会社を通じて、関西文化の発信や米国の優秀なソフトウェア技術の輸入を行っていききたい」と、さらなるグローバル化をめざしている。



一体型ACサーボシステム

## ■クリエイティブ・ビジネス賞

有限会社 田中印刷所  
(滋賀県彦根市)



田中社長

田中印刷所は、印刷業界の経営環境が厳しさを増すなか、業態変革の一環として、コンテンツビジネスの取り組みを開始。Web3D、3Dパース等、3Dコンテンツの企画・製作を行っている。

前回に引き続き出展されたバーチャルマネキン、人型のアクリル板に専用フィルムを貼り、背面からイベントコンパニオンや司会者の映像を等身大で投影し、写し出された人物の動画(3DCG)が、案内するというもので、来場者から高い注目を集めていた。

田中社長は、2010年の大阪創造取引所への初出展を機に、取引先の幅が非常に広がり、印刷業からの脱却と今後のコンテンツビジネスへの手ごたえを感じている、と語っている。



バーチャルマネキン

## ■審査員特別賞

株式会社 ズームス  
(神戸市中央区)



保田社長

ズームスは「ただしく、わかりやすく、あたらしい」をキーワードに、サイエンスとアートを融合したコンテンツ制作を手掛け、科学技術をテーマにした映像と情報・データの可視化の二つの柱を軸とした「ビジュアル・ソリューション」の提供をめざしている。

今回出展の「バーチャル・ミュージアム」は、インタラクティブ3D技術による「架空の美術館」。大画面立体映像によって、まるで本物のミュージアムの中を歩くように作品鑑賞ができる。

保田社長は、新しい分野をサポートする大阪創造取引所は、「参加することで経験・知見が広がる。関西には新しいことをやりたい人がたくさんいる。そういう人たちの活動の場がもっと広がれば」と今後に期待を寄せた。



バーチャル・ミュージアム